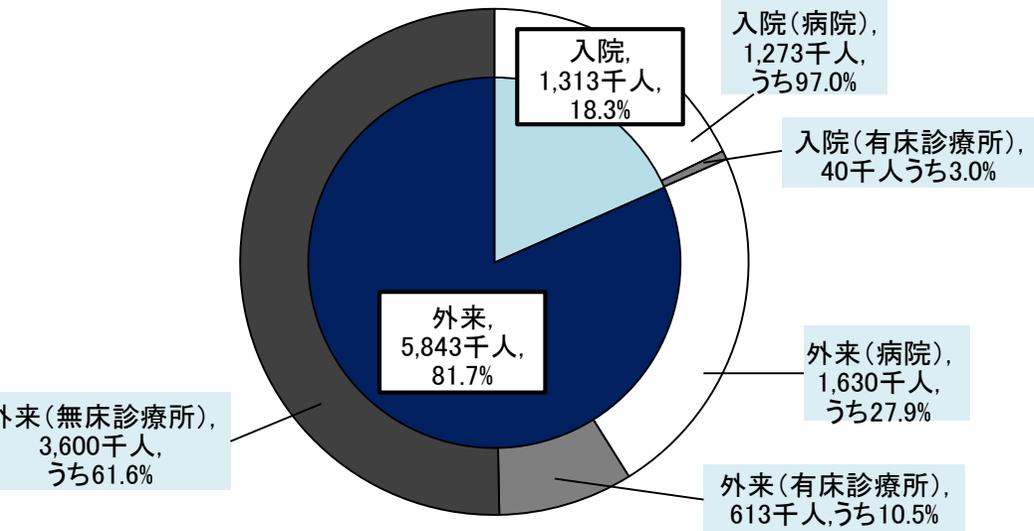


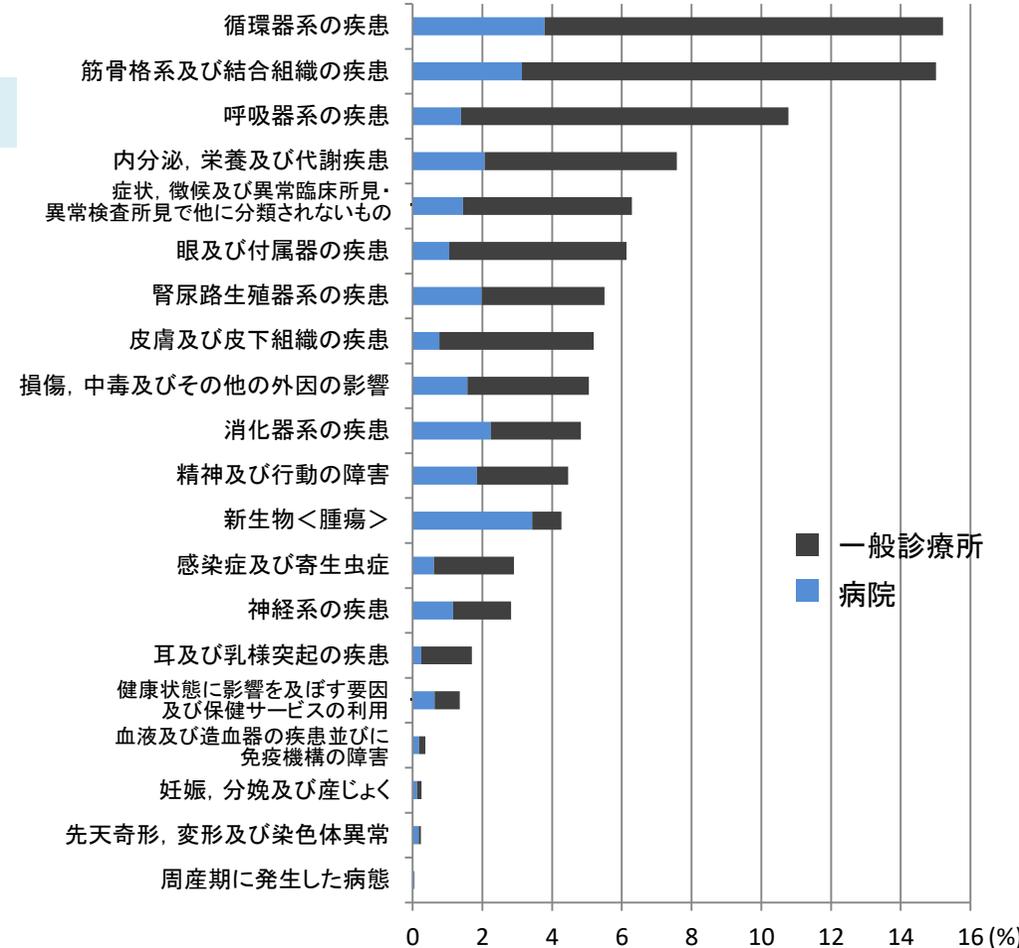
外来医療を取り巻く現状について

○ **外来患者数**は、入院患者数と外来患者数の合計の**約8割**で、そのうち**無床診療所**を受診する者が**約6割**を占める。

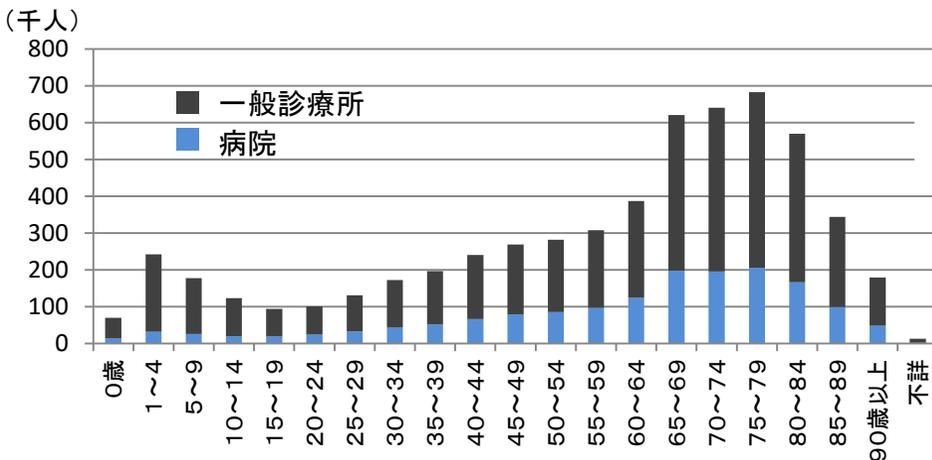
入院／外来患者の施設別割合 (歯科を除く)



外来患者の傷病別割合 (歯科を除く)



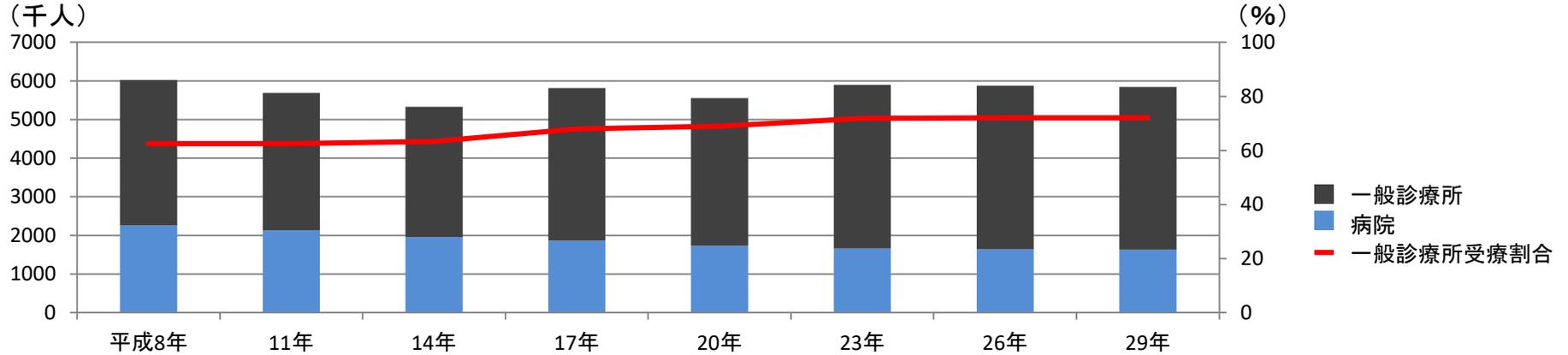
外来患者の年齢階級別分布 (歯科を除く)



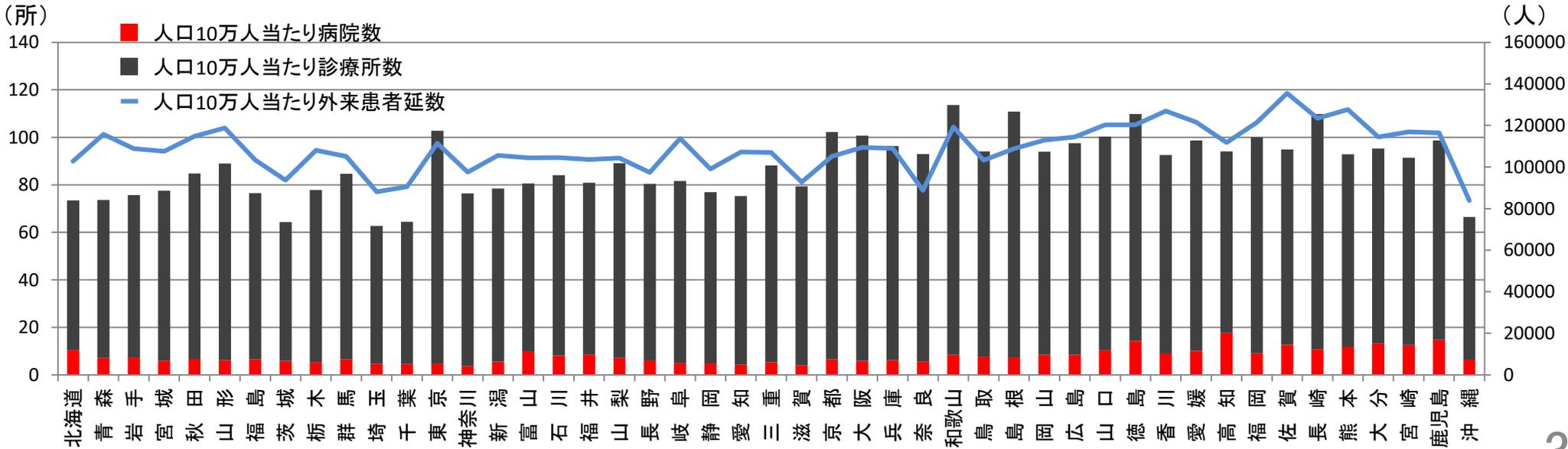
- **外来患者数**は、近年、ほぼ横ばいで推移しているが、**診療所の受療割合が増加傾向**にある。
- 都道府県別にみると、医療機関の多い都道府県で、患者数が多い傾向にある。

外来患者数の推移(病院・診療所別)

出典：平成29年患者調査、平成29年医療施設調査、平成29年住民基本台帳人口



都道府県別の医療機関数と外来患者数

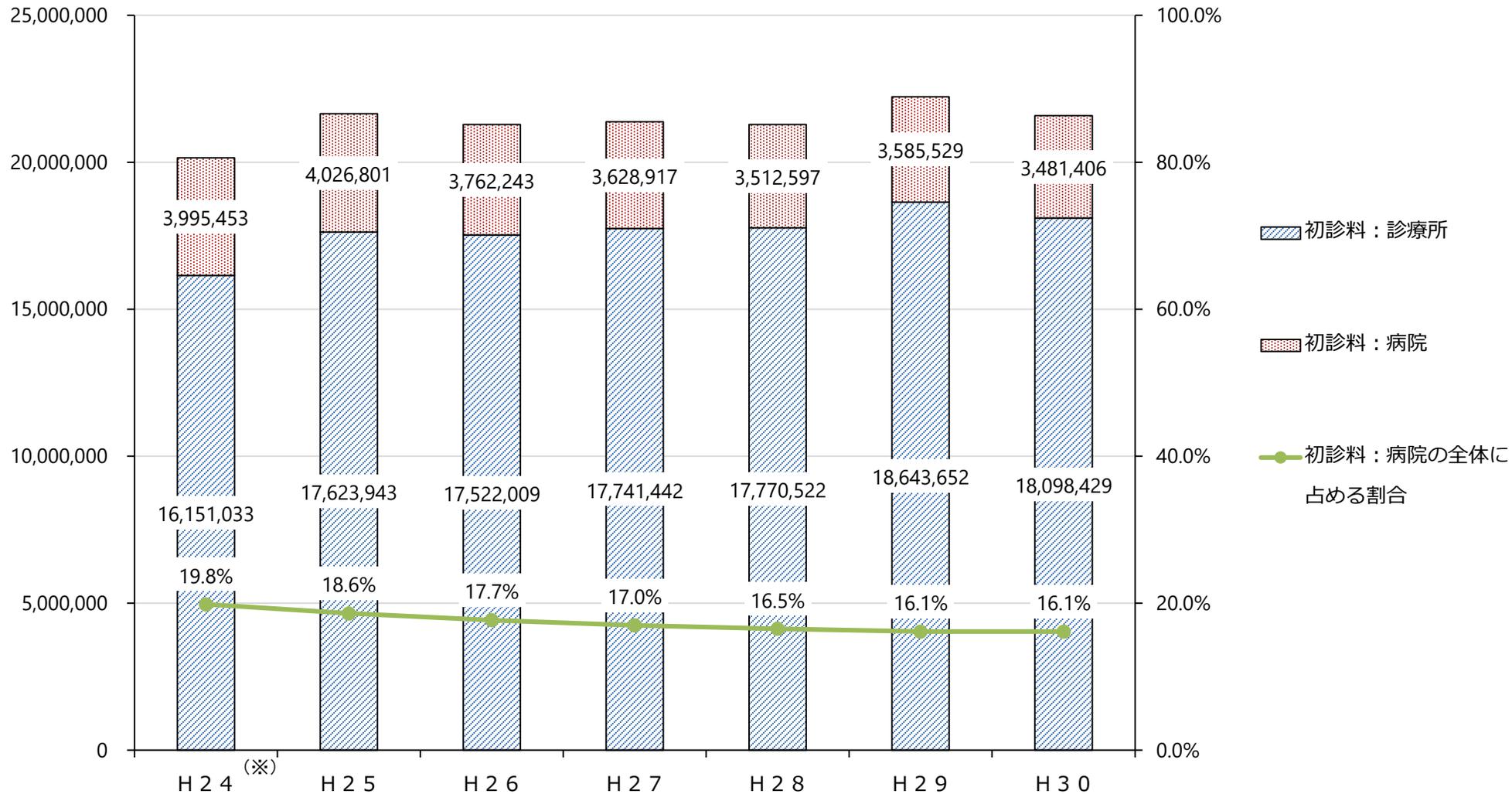


病院・診療所別の初診料の算定回数の年次推移

令和元年5月15日
中医協総会資料(改)

○ 初診料の算定回数は、診療所が病院に比べ多く、また、病院の割合は減少傾向。

(単位:回)



出典：社会医療診療行為別統計（平成27年より）、社会医療診療行為別調査（平成26年まで）（各年6月審査分）

※診療所について：平成24年以前は抽出調査、平成25年以後は全数調査

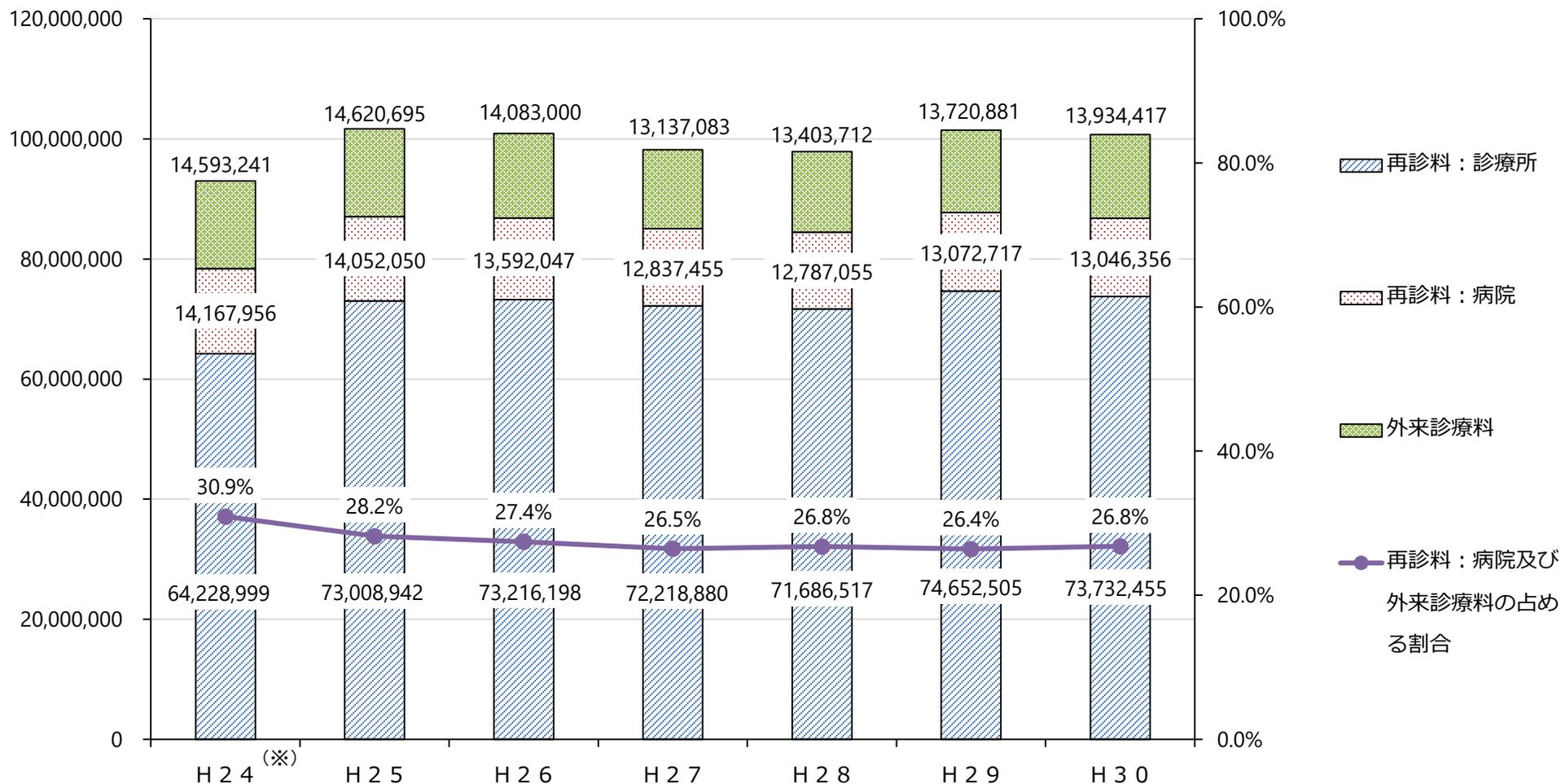
病院・診療所別の再診料・外来診療料の算定回数の年次推移

令和元年5月15日
中医協総会資料(改)

○ 病院の再診料の算定回数は減少傾向であるが、外来診療料は増加傾向にあり、全体に占める割合は近年概ね横ばい。

(単位:回)

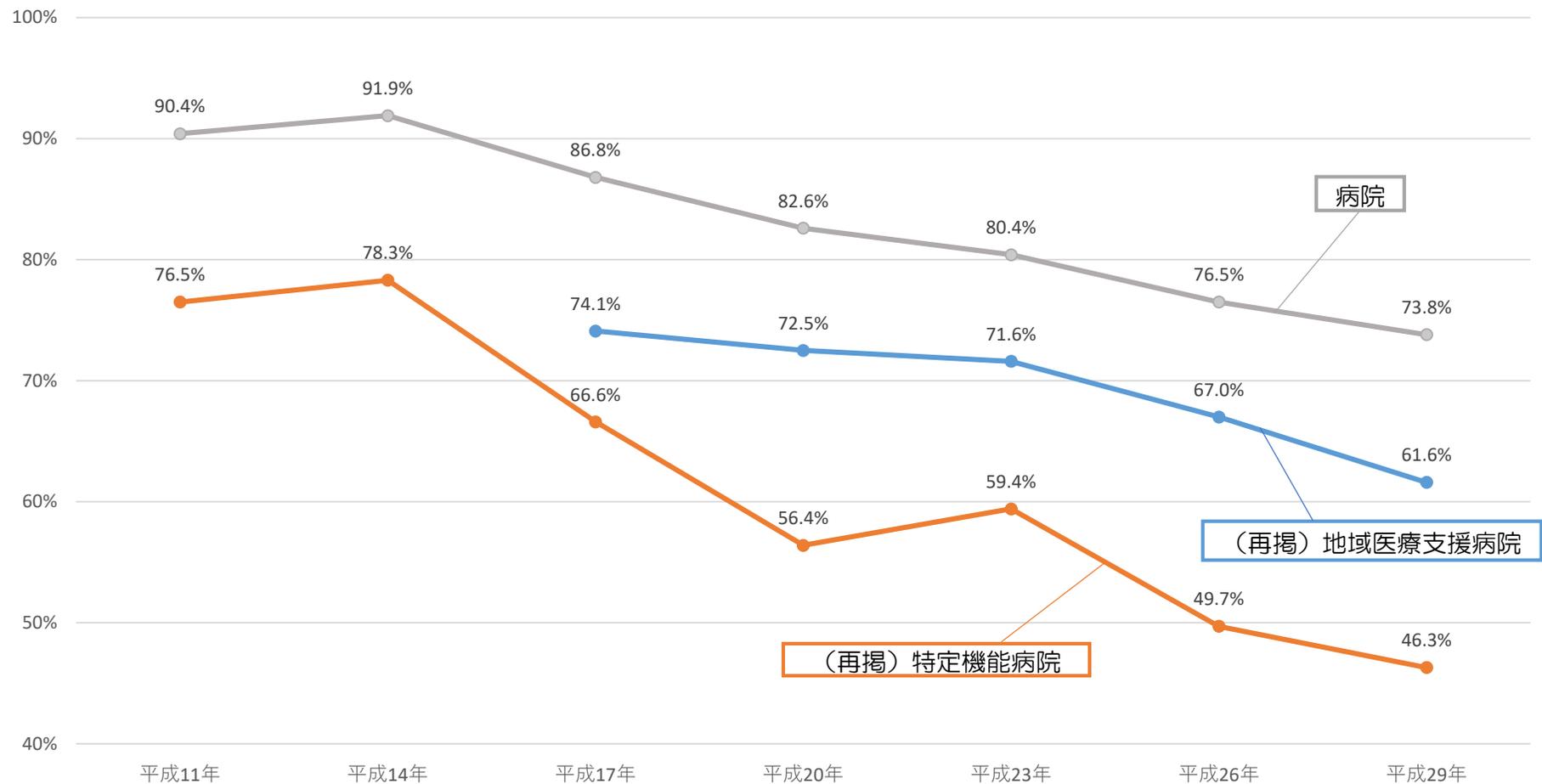
＜病院・診療所別の再診料・外来診療料の算定回数の年次推移＞



出典：社会医療診療行為別統計（平成27年より）、社会医療診療行為別調査（平成26年まで）（各年6月審査分）
※診療所について：平成24年以前は抽出調査、平成25年以後は全数調査

紹介無しで外来受診した患者の割合の推移（機能別）

○ 紹介無しで外来受診した患者の割合を機能別に見たところ、全体的に減少傾向にあるものの、特定機能病院では46.3%、地域医療支援病院では61.6%と依然として高い割合となっている。



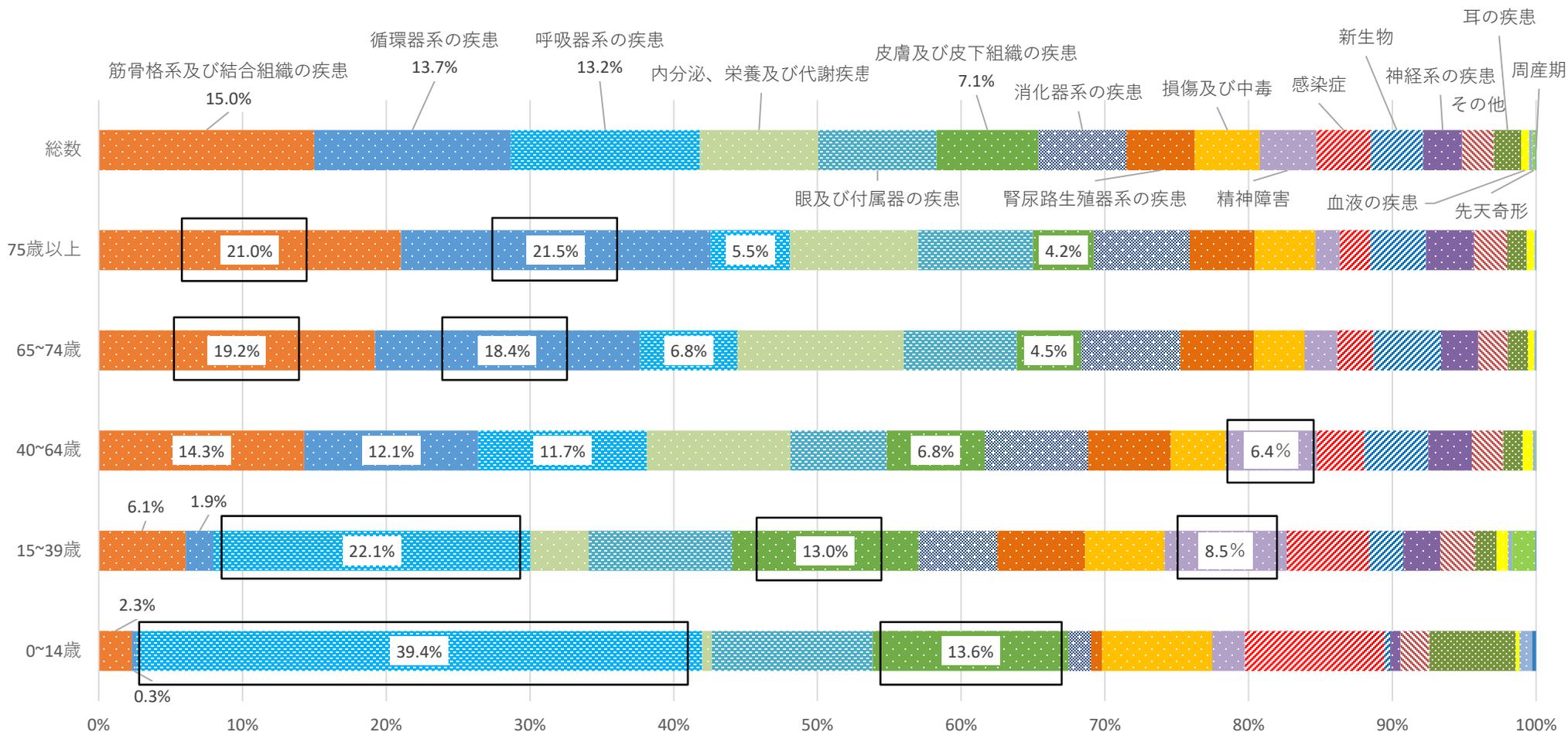
出典：平成8年～平成29年患者調査を基に作成。

注：平成23年患者調査については、宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値。

外来機能：初・再診料の算定回数が多い疾患分類

- 若年層では呼吸器や皮膚に係る疾患が多く、年齢を経ると筋骨格系や循環器に係る疾患が多くなる
- 15～64歳では、他の年齢層に比べ、精神障害の割合が高い

初・再診料を算定した疾患分類



2.3. 診療所医師の専門分化

厚生労働省の「医師・歯科医師・薬剤師調査」では、主たる診療科が「内科」である医師が頭打ちとなっており、消化器内科、循環器内科などその他内科系の医師が増加している(図 2.3.1)。

外科においても「外科」の医師が減少し、泌尿器科、脳神経外科など、その他外科系の医師が増加しており(図 2.3.2)、診療所医師の専門分化が進んでいる。

図 2.3.1 診療所 内科系医師数の推移

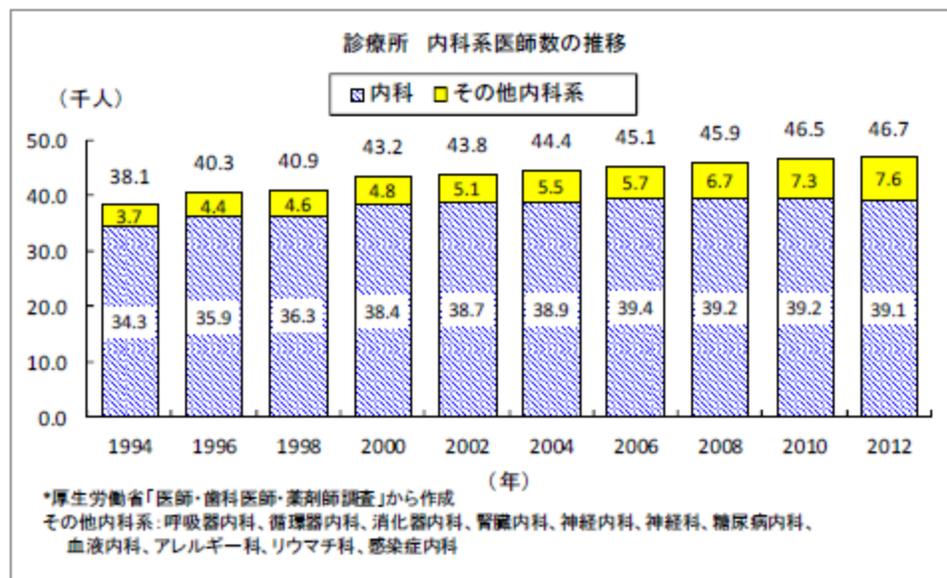
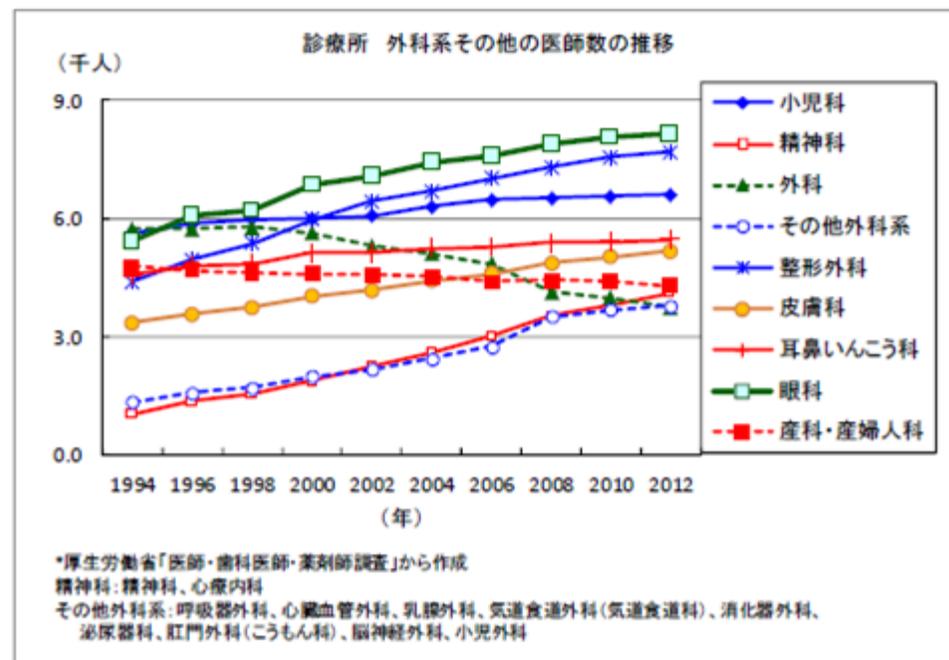


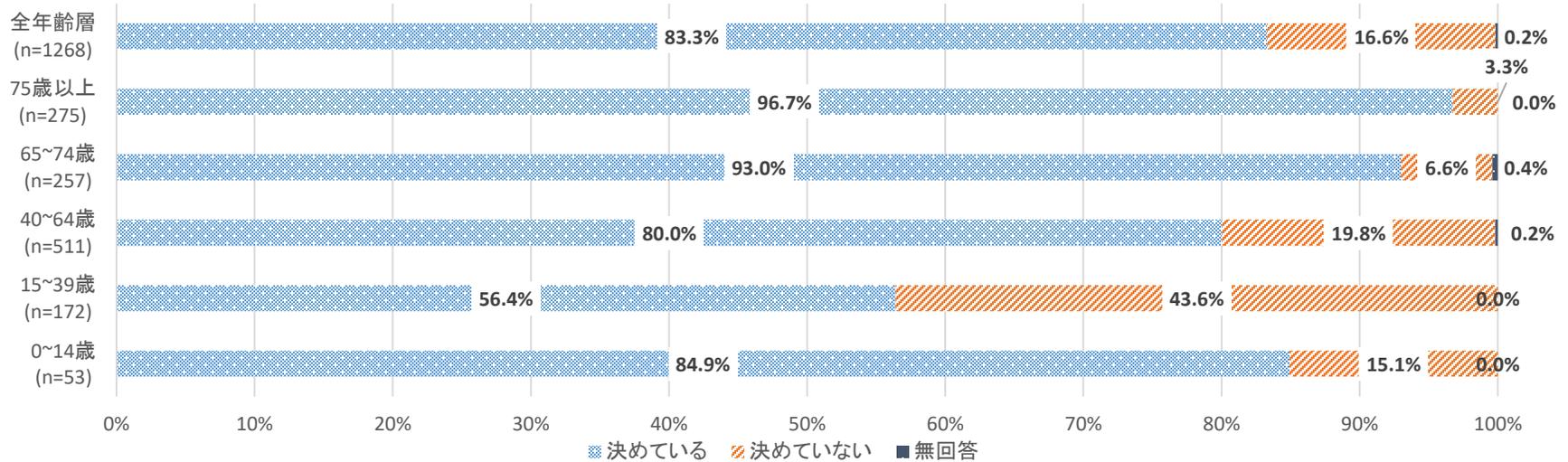
図 2.3.2 診療所 外科系その他の医師数の推移



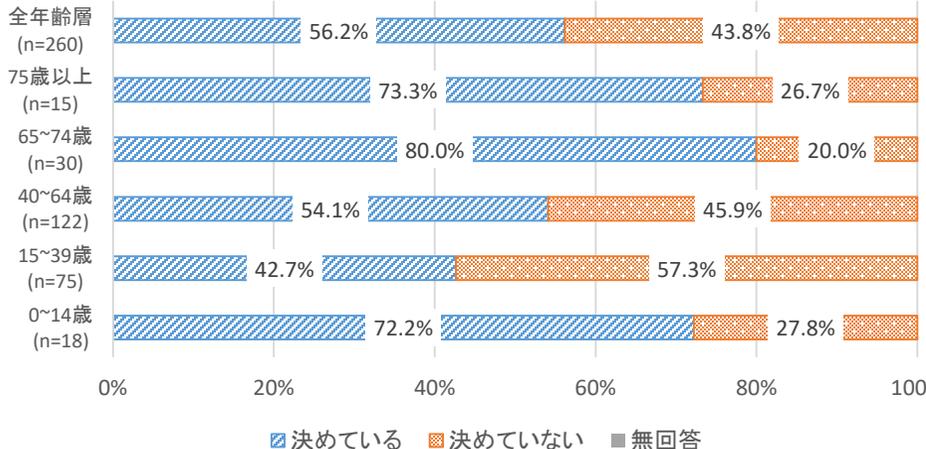
かかりつけ医を決めている患者の割合

- 回答患者のうち、全年齢層で約83%の患者がかかりつけ医を決めている。
- 年齢層別に見ると、75歳以上は約97%がかかりつけ医を決めている一方で、15～39歳の患者は約56%と、差がある。
- 初診患者に比べ、再診患者において、かかりつけ医を決めている割合が全年齢層で高い。

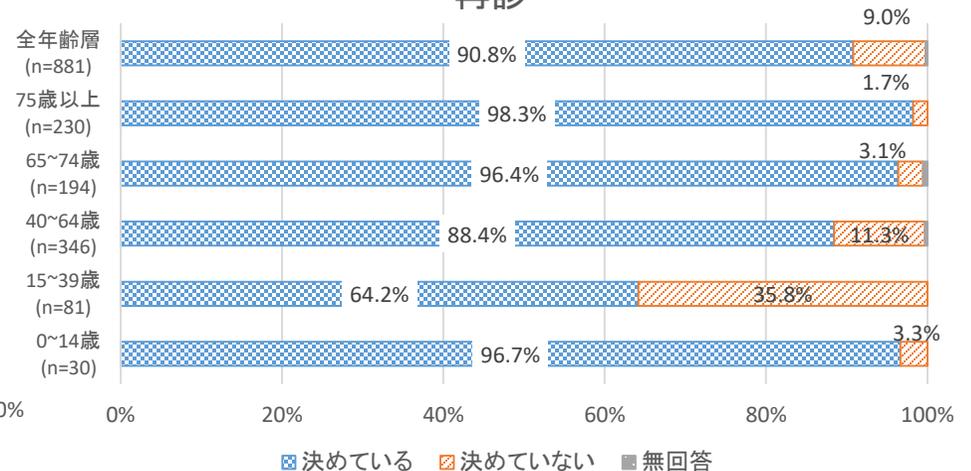
かかりつけ医を決めている/決めていない



初診



再診

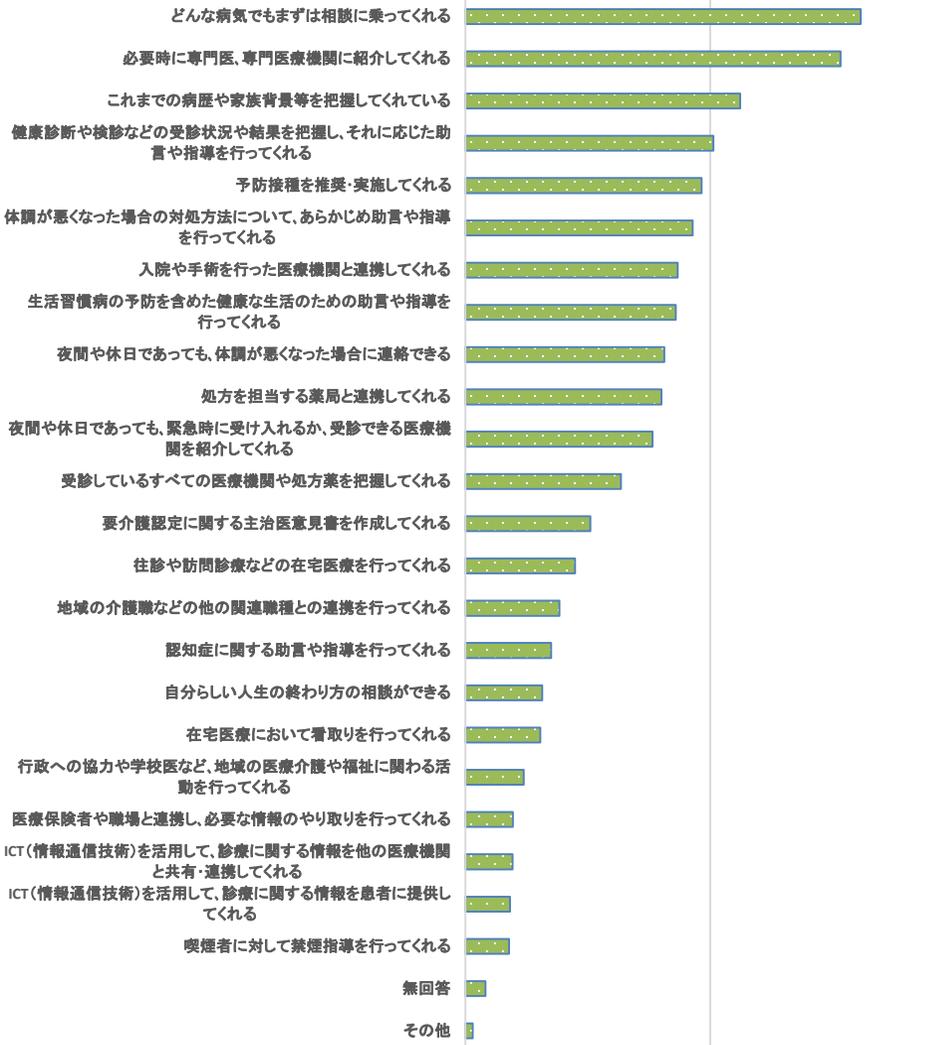


患者がかかりつけ医に求める役割と施設が有するかかりつけ医機能について

- 回答患者がかかりつけ医に求める役割は、「どんな病気でもまずは相談に乗ってくれる」が最多。
- 回答施設が有しているかかりつけ医機能は、「必要時に専門医、専門医療機関に紹介する」が最多。

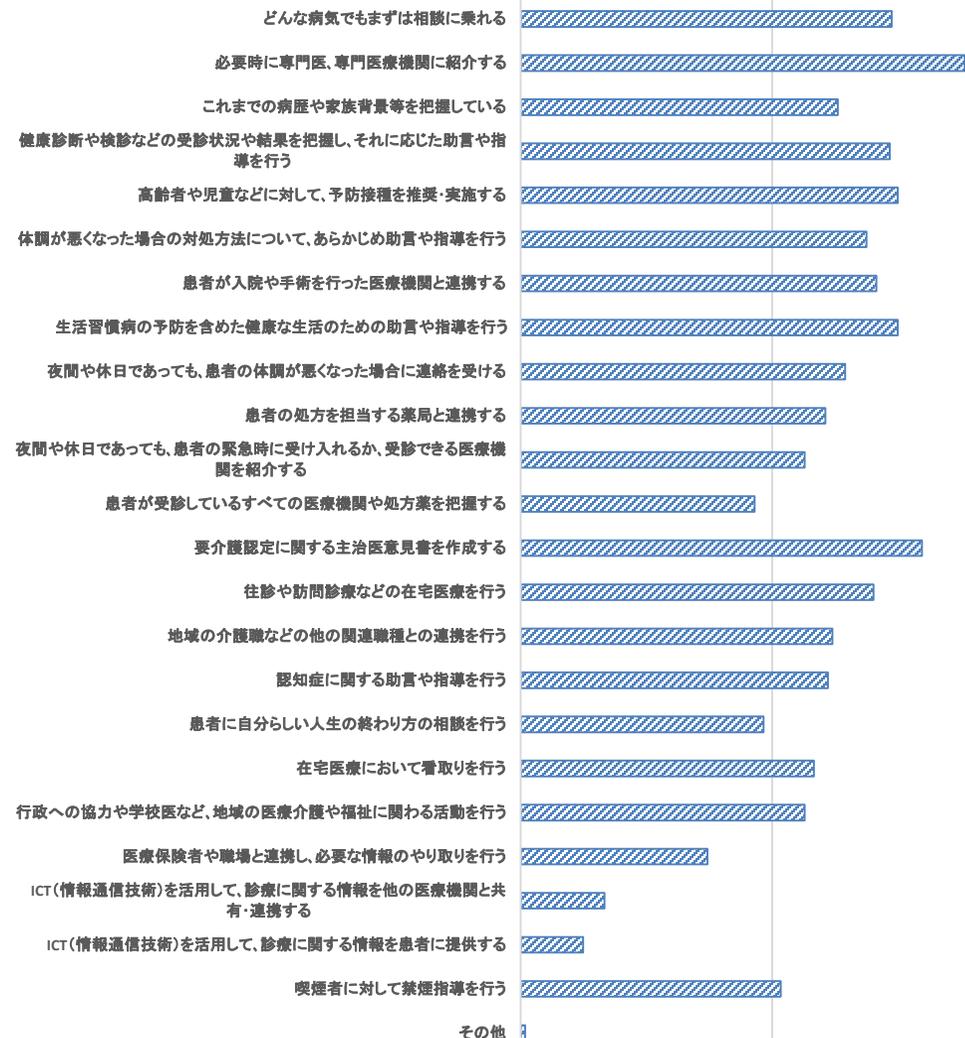
患者票 (全年齢層(n=1268))

0.0% 50.0% 100.0%



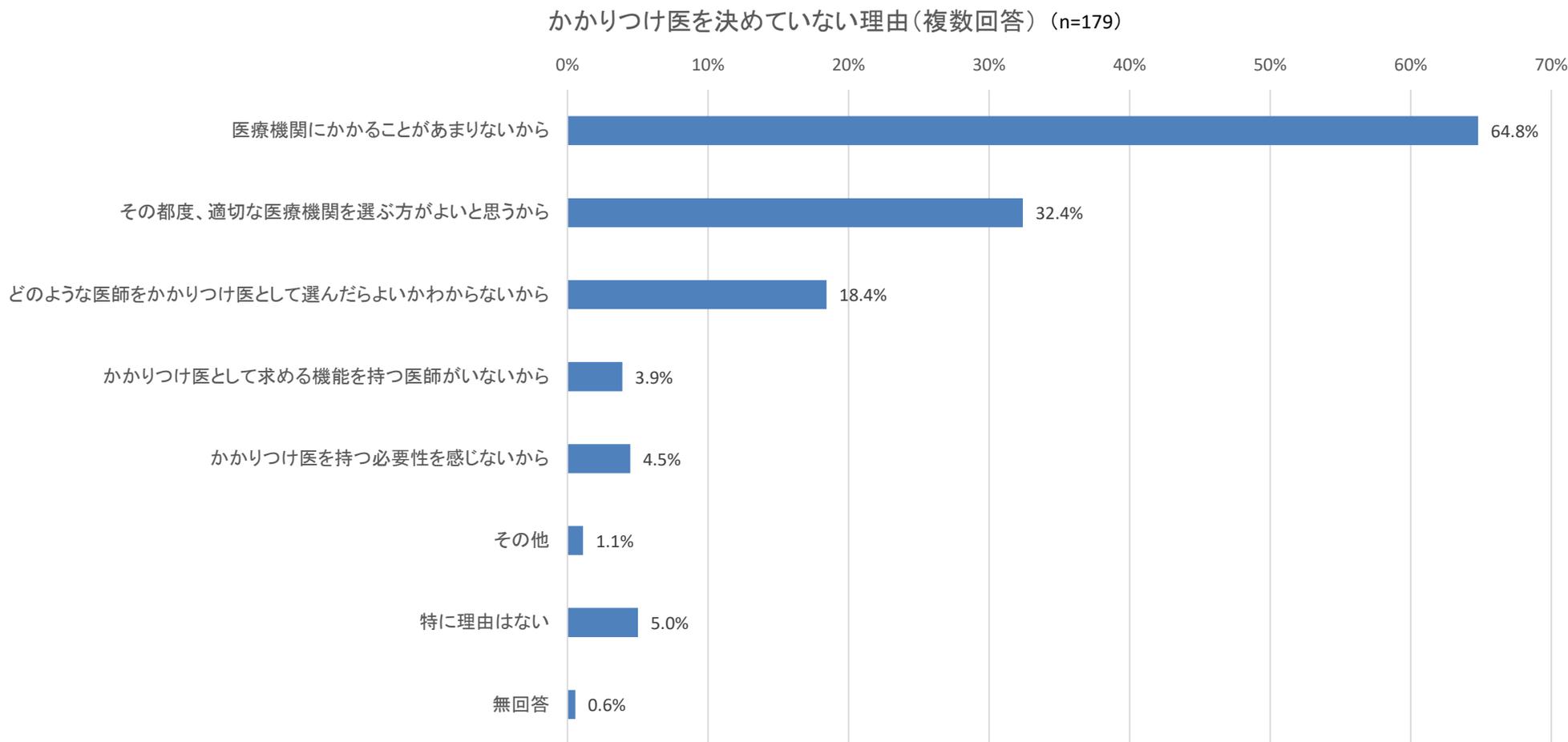
施設票 (全施設(n=563))

0.0% 50.0% 100.0%



かかりつけ医を決めていない理由について

○ かかりつけ医を決めていない患者に対してその理由を尋ねたところ、「医療機関にかかることがあまりないから」が最も多く、次いで「その都度、適切な医療機関を選ぶ方がよいと思うから」が多かった。



【出典】平成30年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(令和元年度調査)「かかりつけ医機能等の外来医療に係る評価等に関する実施状況調査」(患者票)(速報値)

○ 機能強化加算の届出施設 500施設、機能強化加算の未届出施設 500施設について、それぞれ1施設当たり8名の機能強化加算(未届出施設においては初診料)の算定患者を対象として調査を実施。